

デバイスレイアウタ Ver 1.0 Windows 版



株式会社リアリニット

2017/12/19

目次

1	はじ	めに	5
	1.1	システムの特長	5
	1.2	本マニュアルの利用法	5
2	イン	ベストール方法	7
	2.1	動作環境	7
	2.2	インストール手順	8
	2.3	アンインストール手順	.11
3	シブ	テムの起動と終了	.15
	3.1	スタート画面からの起動	.15
	3.2	デスクトップからの起動	.17
	3.3	システムの終了	.17
4	ます	*は使ってみよう	.19
	4.1	サンプルデータを開く	.19
	4.2	視点変更	.20
	4.3	デバイスの配置	.20
5	部屋	配置ファイル	25
	5.1	部屋配置ファイルの作成	.25
	5.2	部屋配置ファイルのダウンロード	.25
			26
	5.3	専用フォルター内への配置	
6	5.3 ライ	専用フォルター内への配置 センス	29
6	5.3 ライ 6.1	専用フォルター内への配置 センス ライセンスの指定	29 29
6	5.3 ライ 6.1 6.2	専用フォルター内への配置 センス ライセンスの指定 ライセンス設定の確認	29 29 29
6 7	5.3 ライ 6.1 6.2 基本	専用フォルター内への配置	29 29 29 33
6 7	5.3 ライ 6.1 6.2 基本 7.1	専用フォルター内への配置	29 29 29 33 33
6	5.3 ライ 6.1 6.2 基本 7.1 7.2	専用フォルター内への配置	29 29 29 33 33 34
6 7	5.3 ライ 6.1 6.2 基本 7.1 7.2 7.3	専用フォルター内への配置	29 29 29 33 33 34 34
6	5.3 ライ 6.1 6.2 基本 7.1 7.2 7.3 7.4	 専用フォルター内への配置 センス ライセンスの指定	.29 .29 .29 .33 .33 .34 .34 .34
6	5.3 ライ 6.1 6.2 基本 7.1 7.2 7.3 7.4 7.5	 専用フォルター内への配置 センス	29 29 33 33 34 34 35 37
6	5.3 ライ 6.1 6.2 基本 7.1 7.2 7.3 7.4 7.5 7.6	 専用フォルター内への配置 センス ライセンスの指定	29 29 29 33 33 33 34 35 37 40
6	5.3 ライ 6.1 6.2 基本 7.1 7.2 7.3 7.4 7.5 7.6 7.7	 専用フォルター内への配置 センス ライセンスの指定 ライセンス設定の確認 機能	29 29 33 33 34 34 35 37 40 41
6	5.3 ライ 6.1 6.2 基本 7.1 7.2 7.3 7.4 7.5 7.6 7.7 7.8	 専用フォルター内への配置 センス	29 29 33 33 33 34 35 37 40 41 43
6	5.3 ライ 6.1 6.2 基本 7.1 7.2 7.3 7.4 7.5 7.6 7.7 7.8 7.9	 専用フォルター内への配置	29 29 33 33 34 35 37 40 41 43 44
6	5.3 ライ 6.1 6.2 基本 7.1 7.2 7.3 7.4 7.5 7.6 7.7 7.8 7.9 7.10	専用フォルター内への配置	29 29 33 33 34 34 35 37 40 41 43 44 44
6 7 8	5.3 ライ 6.1 6.2 基本 7.1 7.2 7.3 7.4 7.5 7.6 7.7 7.8 7.9 7.10 3D	専用フォルター内への配置	.29 .29 .33 .33 .34 .34 .35 .37 .40 .41 .43 .44 .44
6 7 8	5.3 ライ 6.1 6.2 基本 7.1 7.2 7.3 7.4 7.5 7.6 7.7 7.8 7.9 7.10 3D 8.1	専用フォルダー内への配置	.29 .29 .33 .33 .33 .34 .34 .35 .37 .40 .41 .43 .44 .44 .44
6 7 8	5.3 ライ 6.1 6.2 基本 7.1 7.2 7.3 7.4 7.5 7.6 7.7 7.8 7.9 7.10 3D 8.1 8.2	専用フォルター内への配置	29 29 29 33 34 34 35 37 40 41 43 44 44 44 47 47
6 7 8	5.3 ライ 6.1 6.2 基本 7.1 7.2 7.3 7.4 7.5 7.6 7.7 7.8 7.9 7.10 3D 8.1 8.2 8.3	 専用フォルター内への配置	29 29 29 33 34 34 35 37 40 41 43 44 44 44 47 47 47

9.1	概要	
9.2	バーチャルリアリティビューアの利用	51
10	技術サポート	
10.1	1 インストール支援	
10.2	2 サポート契約	
11	お問い合わせ方法	

<u>第1章 はじめに</u>

- 1 はじめに
 - 1.1 システムの特長
 - 自作の 3D 形状データを組み込み可能 お手持ちの 3D 形状を組み込み、配置検討ができます。 マンションの部屋内に配置する家具類、オフィスで使用する什器類、さらには工場に配置する工 作機械など、あらゆる形状データを組み込めますので、様々な場面でお使いいただけます。
 - 3D 形状組み込み専用アプリケーションを利用可能
 自作の 3D 形状を簡単に組み込めるように、専用のアプリケーションを用意しています。
 3D 形状の写真を画面上のどこに表示させるかについてもカスタマイズ可能なので、利用頻度の

多いものを画面の上部に表示させるなど、使いやすいインターフェースを構築できます。

● バーチャルリアリティビューアと連携可能

3D データ完成後、本ソフトウェアのメニューを選択するだけで、バーチャルリアリティビュー アを起動できます。作成した 3D データを取り込み、3 次元立体視による検討ができます。

1.2 本マニュアルの利用法

第4章「まずは使ってみよう」を参考に、簡単な使い方を学んでください。 その後、詳しく知りたい機能の説明を参照し、より高度な利用法を学ぶ方法がおすすめです。

<u>第2章 インストール方法</u>

2 インストール方法

2.1 動作環境

本ソフトウェアを利用するために必要なハードウェアおよびソフトウェアは以下の通りです。

項目	詳細
OS	Microsoft Windows 10
	Microsoft Windows 8.1(64bit / 32bit)
СРИ	上記 0S が正常動作するもの
	Intel Core i3以上を推奨
メモリ	1GB 以上
	利用するデータの大きさに応じて、より大容量のメモリ搭載
	を推奨
グラフィック	OpenGL 対応のグラフィックボード必須
	小規模データであれば、オンボードのもので動作するが、大
	型データを利用する場合は、NVIDIA 社製品など、高性能の
	製品を推奨
ディスプレイ	上記 OS で正常動作するもの
	解像度:1024×1068 以上
ハードディスク	必須空き容量:100MB
	本ソフトウェアにより作成したユーザーデータを保管するた
	めのディスク領域も別途必要
マウス	3 ボタンマウス必須
	中央ボタンによるスクロール機能必須
インターネット接続	ライセンス認識のため必須

ライセンスを導入しない状態でも、一部の機能は利用できますので、動作環境に不安がある場合 は、購入前に動作確認をされることをお勧めします。

2.2 インストール手順

以下の手順にて、本ソフトウェアを利用するための準備を行います。

注意:

インストールの実施には、管理者権限が必要です。管理者権限を持つユーザーでログインしたの ち、インストール作業を行ってください。

以下の手順にて、本ソフトウェアを利用するための準備を行います。

- (1) zip ファイルを解凍します。
- (2) エクスプローラを開き、解凍先の内容を確認します。

名前	更新日時	種類	サイズ
BasicSettings	2017/12/14 10:42	ファイル フォルダー	
Programs	2017/12/14 13:11	ファイル フォルダー	
🚱 Installer.exe	2017/12/14 14:20	アプリケーション	1,879 KB
Interop.IWshRuntimeLibrary.dll	2017/12/12 15:46	アプリケーション拡張	48 KB

- (3) エクスプローラ上で Installer.exe をダブルクリックし、インストールプログラムを起動しま す。
- (4) ユーザーアカウント制御のダイアログボックスが表示された場合は、<はい>ボタンを押しま す。



(5) セットアップ画面が開きます。<インストール>ボタンを押します。



(6) インストールフォルダーの選択画面が開きます。

プログラム本体をインストールする場所を指定します。

別の場所を指定したい場合は、<参照>ボタンを押し、インストールしたいフォルダーを選択 します。

テキストボックスに文字列を書き込むことで、インストールフォルダーを指定することもできます。

指定が完了したら、<次へ>ボタンを押します。

•	インストールーデバイスレイアウタ Windows版	- 🗆 🗙
インストールフォルダーの選択		1/4
インストール先のフォルダーを指定しま このフォルダーにインストールするには 別のフォルダーにインストールするには	ます。 D次へ)をカリックします。 た.アドレスを入力するか[参照]をクリックします。	
C:¥Program Files (x86)¥Real	linite¥DevLayouterForWn 参照(<u>R</u>))
	キャンセル 〈戻る(日)	\%\\N>

(7) 存在しないフォルダーを指定した場合は、フォルダー作成確認ダイアログボックスが表示されます。

<はい>ボタンを押すと、そのまま次へ進みます。

<いいえ>ボタンを押すと、インストールフォルダーの指定に戻ります。



(8) その他の設定画面が開きます。

以下の設定を行います。

- 一時フォルダの場所 設定ファイルなどを保管する場所を指定します。
- デスクトップにショートカットを作成
 インストール時に、デスクトップにショートカットを作成するかどうかを指定します。

設定が終わったら、<次へ>ボタンを押します。

0	インストールーデバイスレイアウタ Windo	ows版 — □ ×
その他の設定		2/4
その他の設定を行います デフォルト設定のままインストールする 設定を変更する場合は、値変更後い 一時フォルダの場所 [C:¥tmp] □ デスクトップにショートカットを作	場合はじ次へ)をクリックします こじ次へ)をクリックします	参照(月)
	キャンセル	〈戻る(日) 次へ(N)>

(9) 開始確認ダイアログボックスが開きます。 <はい>ボタンを押します。



(10) インストールが開始します

0	インストールーデバイスレイアウタ Windows版	- 🗆 🗙
インストールの進	行状況	3/4
実行プログラム	๗インスト−ル	
その他	コピー中:Carpet01_8Mat.fbw(46/206)	
	未実施	
	キャンセル 〈戻る(目)	./k∧(N)>

(11) インストールが完了すると、<次へ>ボタンがアクティブとなるので、これを押します。

0	インストールーデバイスレイアウタ Windows版	×
インストールの	進行状況	3/4
実行プログラ	ムのインストール	
	⊐ピー中:TextureLibdll(206/206)	
その他		
	ショートカット作成中:DevLayouterForWir(1/1)	
	キャンセル 〈戻る(日)	※へ(N)》

- (12) インストール完了画面が開きます。
 - インストール結果が表示されます。問題ないことを確認後、<閉じる>ボタンを押します。

•	インストールーデバイスレイアウタ Windows版	- 🗆 🗙
インストールが完了しました		4/4
プログラムフォルダーの作成: 一時フォルダーの作成: プログラムのコピー: レジストリキーの登録: ショートカットの作成:	実施 → 成功 成功 成功 成功	
	キャンセル (戻る(日)	103(C)

2.3 アンインストール手順

以下の手順にて、本ソフトウェアを削除します。

- (1) エクスプローラ上で Installer.exe をダブルクリックし、インストールプログラムを起動します。
- (2) ユーザーアカウント制御のダイアログボックスが表示された場合は、<はい>ボタンを押しま す。



(3) セットアップ画面が開きます。<アンインストール>ボタンを押します。



(4) 開始確認ダイアログボックスが開きます。 <はい>ボタンを押します。



(5) アンインストールが開始します

アンインストールーデバイスレイアウタ	- 🗆 🗙
アンインストールの進行状況	1/2
レジストリの登録解除 登録解除中(4/4)	
実行プログラムのアンインスト ール プログラム肖除中:msvcp1 20.dll(15/206)	
ショートカットの削除	
キャンセル (戻る(日) 次	~(N)>

(6) アンインストールが完了すると、<次へ>ボタンがアクティブとなるので、これを押します。

	アンインストールーデバイスレイアウタ	- 🗆 🗙
アンインストーノ	ルの進行状況	1/2
レジストリの全	登録角印余	
	登録,翔徐中(4/4)	
実行プログラ	ムのアンインストール	
	プログラム削除中:devicesetting.inwall.xml(206/206)	
ショートカットの	の肖明余	
	ショートカット判除不要:デバイスレイアウタ(1/1)	
	キャンセル 〈戻る(日)	次へ(N)>

(7) アンインストール完了画面が開きます。

アンインストール結果が表示されます。問題ないことを確認後、<閉じる>ボタンを押します。

0	アンインストールーデバイスレイアウタ	- 🗆 ×
アンインストールが完了しました		2/2
レジストリキーの肖ᆙ宗:	成功	
プログラムの削除:	成功	
アプリケーションフォルダーの削除:	成功	
一時フォルダー内容の削除:	成功	
一時フォルダーの削除:	実施 -> 反	动
	キャンセル	(B) 閉じる(C)

第3章 システムの起動と終了

3 システムの起動と終了

3.1 スタート画面からの起動

まずは、Windows 8.1 の場合について起動方法を説明します。

(1) スタート画面のタイルを選択します。 デスクトップの左下にあります。



(2) スタート画面左下の矢印を選択します。 デスクトップの左下にあります。



(3) アプリリストの中の、「デバイスレイアウタ」を探します。<デバイスレイアウタ>を選択します。



(4) 有効なライセンスが確認できない場合、無料ユーザーとして起動することが通知されます。



(5) OK ボタンを押すと、システムが起動します。

	3	Untitled - DevLayouterForWin	- 🗆 ×
	: ファイル(F) 編集(E) 表示(M) 設定(S) ヘルフ(H)	*	
デバイスタブ			
第 第 第 第 第 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5			
	レディ		CAP NUM SCRL

Windows 10 の場合は以下のような手順となります。

(1) スタート画面のタイルを選択します。 デスクトップの左下にあります。



(2) アプリケーション一覧から、デバイスレイアウタを探します。<デバイスレイアウタ>を選択します。



3.2 デスクトップからの起動

インストール時に、デスクトップへのショートカット追加を行った場合、デスクトップから起動 することもできます。

「デバイスレイアウタ」のショートカットをダブルクリックすることで起動できます。



3.3 システムの終了

手順は以下の通りです。

(1) メインメニューの[ファイル]-[アプリケーションの終了]を選択します。 デバイスレイアウタが終了します。



<u>第4章 まずは使ってみよう</u>

4 まずは使ってみよう

4.1 サンプルデータを開く

この章では、デバイスレイアウタを使用して、簡単なデータを作成するシナリオを紹介し、基本的な機能の使い方を学びます。

インストール先フォルダー内に SampleData という名前のフォルダーがあり、以下のようなサン プルデータが保存されているはずです。

🌗 Images	2017/12/14 16:01	ファイル フォルダー	
10F-B2F.rmw	2017/02/22 7:55	RMW ファイル	48 KB
factory.rmw	2017/02/22 7:55	RMW ファイル	28 KB
Home.rmw	2017/07/28 10:40	RMW ファイル	24 KB
hospital.rmw	2017/04/12 12:43	RMW ファイル	25 KB

拡張子.rmwのファイルは、部屋配置ファイルで、Web版レイアウタで作成したのち、Windows版レイアウタに取り込んで使用する形となります。

サンプルデータを開く手順は以下の通りです。

(1)メインメニューの[ファイル]・[開く]を選びます。

アイル(F) 編集(E)	表示M	設定
開<(0)	Ctrl+(2
保存(5)		
アプリケーションの	D終了(X)	
	アイル(F) 編集(E) 開く(O) 保存(S) アプリケーションの	アイル(F) 編集(E) 表示(M) 開く(O) Ctrl+(保存(S) アプリケーションの終了(X)

[ファイルを開く]ダイアログボックスが表示されます。

プ ファイルを開く	- = ×
部屋ファイル	ок
デバイスファイル	キャンセル
選択	
 部屋ファーイルは必ず指定してください	

(2)<選択>ボタンを押し、ファイルダイアログで、いずれかのサンプルファイルを開きます。 部屋ファイルの欄に、指定したファイルの内容が追加されます。

9	ファイルを開く	- = ×
部屋ファイル C:¥Program Files (x86)¥I	Realinite¥DevLayouterForWin¥SampleData¥10F-B	OK
デパイスファイル	選択	**>1216
· 20 문구 - 24 년 한 문산?	選択	
部座ファイルは必ず指知	定してくたさい	

(3)<OK>ボタンを押します

選択したファイルが開きます。



4.2 視点変更

マウス中ボタンでスクロールすることにより、全体の倍率を変更することができます。 マウス中ボタンでドラッグすると、視点を上下左右に移動させることができます。

テンキーの8、4、6、2キーを押すと、視線の方向を変更することができます。8を押すと上 へ、2を押すと下へ、4を押すと左へ、6を押すと右へ、それぞれ変更します。

4.3 デバイスの配置

デバイスを配置する場所が見えやすい状態になったら、画面左側のデバイスタブに注目してください。

配置対象となる備品類がまとめられています。1 階層目はリストボックス、2 階層目はタブになっており、多数の備品を切り替えながら利用できるようになっています。

最初のページにはベッド類がまとめられています。どの物品でもいいので、いずれかの画像の上 をクリックしてください。

		2		
		: J7411(F	F) 編集(E)	表示
5	デバイスタブ			
事務所 工場				
病院				
~~**				
bed_02_f	bed_03_f			
	San Andrews			
FB_BED_RADDER	_FB_BED_ROUND			
			17	
FB_BED_STRAIGHT]			1
			RII	7

デバイスロード確認のダイアログボックスが表示されます。<はい>を押してください。

🕜 デバイスロード確認	g - 🗆 🗙
デバイスのロードを実施	這しますか?
(tu	いいえ

部屋の床面上へマウスポインタを移動させてください。マウスポインタの位置に、選択中のデバ イスが表示されます。



床面上の任意の位置で左クリックしてください。選択中のデバイスが追加されます。

キーボードのスペースキーを1回押すと、編集モードに切り替わります。このモードでは、デバ イスの新規追加はできませんが、追加済みデバイスの移動や回転などが行えるようになります。ス テータスバーで、現在のモードを確認できます。



追加済みデバイスの上で左クリックすると、選択状態となり、全体が赤くハイライトします。



左ドラッグを行うと、選択中のデバイスを移動させることができます。

Ctrl キーを押しながら、テンキーの4キーまたは6キーを押すと、デバイスを回転させることができます。

以上の操作を繰り返し、デバイスを数個配置してみてください。

作業が完了したら、メインメニューの[ファイル]-[アプリケーションの終了]を選択します。変更 内容を保存せずに終了してください。



<u>第5章 部屋配置ファイル</u>

5 部屋配置ファイル

5.1 部屋配置ファイルの作成

部屋配置ファイルは、床面上に配置する部屋の大きさ、色、さらには壁に配置した窓などの情報 を保持しているファイルです。

部屋配置ファイルは、Web版システムでしか作成できません。作成済みのデータをダウンロード することで、Windows版での利用が可能となります。

作成手順については、Web 版システムの説明書をご覧ください。

5.2 部屋配置ファイルのダウンロード

部屋配置ファイルの拡張子は.rmw ですが、壁にテクスチャーを貼り付けたデータの場合、その 画像データも準備しておかないと、Windows 版での表示ができません。部屋配置ファイルと画像 ファイルを別々にダウンロードし、以下に説明する方法でまとめておく必要があります。

Web版システムの開始画面に、<ファイル管理>というボタンがありますので、まずはこれを押します。

	現在のユーザ
	ログス
デバイス配置編集	
部屋配置編集	
ユーザー情報確認	
ファイル管理	
マニュアル参照	
共通設定	

[ファイル管理]ページが開きます。<部屋配置ファイル>ボタンを押してください。

			現在のユーザー
			ログア
操作力	朝 //ナ [*] ナー。	開始ページへ戻る	
	部屋配置ファイル		
	デバイス配置ファイル		
	デバイス形状		
	2D図面		
	2D DXF		
Γ	共通ビューア		

ル種類 部屋配置ファイル ~]		
ル追加			
			参照
ル削除	削除	すべて削除	
ルダウンロード	ダウンロ・	ード すべてダウンロ・	4-
ファイル一覧			開始ページ
	49.08kByte		
10F-B2F.rmw	1910 Chaby to		
10F-B2F.rmw Home.rmw	24.57kByte		
10F-B2F.rmw Home.rmw factory.rmw	24.57kByte 14.71kByte		

<ファイル種類>を切り替えることで、部屋配置ファイルをダウンロードするのか、あるいは画像ファイルをダウンロードするのかを選択することができます。

ファイル一覧からダウンロードしたいファイルを選び、<ダウンロード>ボタンを押すと、ロー カルマシン上にファイルをコピーできます。

5.3 専用フォルダー内への配置

ダウンロードしたファイルは、専用のフォルダーを準備し、ここに配置してください。

インストール先フォルダーに SampleData というフォルダーがあり、以下のような内容となって いますが、この構成を守る必要があります。

퉬 Images	2017/12/14 16:01	ファイル フォルダー	
10F-B2F.rmw	2017/02/22 7:55	RMW ファイル	48 KB
factory.rmw	2017/02/22 7:55	RMW ファイル	28 KB
Home.rmw	2017/07/28 10:40	RMW ファイル	24 KB
hospital.rmw	2017/04/12 12:43	RMW ファイル	25 KB

部屋配置ファイルは専用フォルダー内に直接配置します。画像ファイルは、Images フォルダー内に配置します。

この構成を守らないと、Windows版システムで部屋配置ファイルを利用する際、不都合が発生 する場合があります。

<u>第6章 ライセンス</u>

6 ライセンス

6.1 ライセンスの指定

本システムのライセンスサーバーは Web 上に存在し、インターネットアクセスで取得します。 システムを最初に起動した際、[ライセンス情報の設定]ダイアログボックスが表示されます。ユ ーザー名とパスワードを適切に設定し、<OK>ボタンを押すと、ライセンス認識に成功したことが通 知され、有料機能が使用できるようになります。

🗗 ライセンス情報の設定	_		×
ユーザー名 Test		ок	
パスワード		キャンセ	л

ライセンス	×
i	有効なライセンスが見つかりました
	ОК

メインメニューの[設定]-[ライセンス]を選択すると、ライセンス設定ダイアログボックスをいつ でも開くことができます。



6.2 ライセンス設定の確認

メインメニューの[表示]・[オプション]を選択すると、[オプション]ダイアログボックスが表示されます。

有効なライセンスがあれば、このダイアログにて確認が可能です。



9		オプション	- 🗆 X
F	ライセンス情報		
	サーバー	Web	閉じる
	ユーザー名		
	MACアドレス		
	有効なライセンス		
		<u></u>	
			li.

<u>第7章 基本機能</u>

7 基本機能

7.1 準備

部屋配置ファイルが開かれていないと、何も作業はできませんので、まずは以下の手順で、いず れかの部屋配置ファイルを開きます。

(1)メインメニューの[ファイル]・[開く]を選びます。

7	アイル(F) 編集(E)	表示M	設定
	開<(0)	Ctrl+(
	保存(S)		
	アプリケーションの	終了00	

[ファイルを開く]ダイアログボックスが開きます。

3	ファイルを開く	_ 0 ×
部屋ファイル		ОК
ッ デバイスファイル	選択	キャンセル
	選択	
部屋ファイルは必ず指定してください		

(2)部屋配置ファイルの<選択>ボタンを押し、いずれかの部屋配置ファイルを指定したのち、<OK>ボタンを押します。

指定した部屋配置ファイルの内容が表示されます。



7.2 視点変更

視点変更の操作は以下の通りです。

- マウス中ボタンによる操作
 ドラッグすると、視点が上下左右に移動します。
 スクロールすると、視点が前後に移動し、全体の倍率が変化します。
- マウス右ボタンによる操作
 ドラッグすると、視点が上下左右に回転します。
- 矢印キーの操作
 上下のキーを押すと、視点が前後に移動し、全体の倍率が変化します。
 左右のキーを押すと、視点が左右に移動します。
- テンキーの操作
 8キーを押すと、視点が上に回転します。
 2キーを押すと、視点が下に回転します。
 4キーを押すと、視点が左に回転します。
 6キーを押すと、視点が右に回転します。

7.3 デバイスの追加

画面左側には、デバイスタブが表示されます。

タブ情報のリストボックスは第一階層の項目一覧です。第二階層の項目は、タブの右上にある左 右の矢印ボタンで切り替えることができます。

ページ内には登録されているデバイスが画像とともに表示されます。いずれかの項目を選択し、 マウスポインタを床面上へ移動させると、選択中のデバイスが表示され、新規追加が可能となりま す。



デバイスタブには、ユーザーが所有している3次元データを組み込むこともできます。詳しい手 順は、該当する章をご覧ください。

新しいデバイスを追加する操作は以下の通りです。

デバイスタブで、追加したいデバイスを選択します。
 [デバイスロード確認]ダイアログボックスが表示されます。

🕑 デバイスロード確	認 ×
デバイスのロードを実	ミ施しますか?
(LUL)	いいえ

- <はい>ボタンを押します。
 デバイスのロードが開始します。
- (3) ロード終了後、マウスポインタを床面上へ移動させます。 マウスポインタの位置に、選択中のデバイスが表示されます。



(4) 配置したい場所で左クリックします。選択中のデバイスが新規追加されます。

7.4 デバイスの編集および削除

本システムには、追加モードと編集モードがあります。 デバイスの編集や削除を行うには、編集モードに移動する必要があります。 (1) キーボードのスペースキーを1回押します。

編集モードに切り替わったことが、ステータスバーで確認できます。



(2) 左マウスボタンで、デバイス上を左クリックします。
 デバイスが選択状態となり、全体が赤くハイライトします。
 Ctrl キーを押しながら操作すると、複数のデバイスを選択することができます。



- (3) 左マウスボタンで、デバイスをドラッグします。 デバイスの位置を変更できます。
- (4) デバイスが選択された状態で、Ctrl キーを押しながら矢印キーを押します。 矢印キーの方向に、選択中のデバイスが移動します。
- (5) デバイスが選択された状態で、Ctrl キーを押しながらテンキーの4または6を押します。 選択中のデバイスが時計回りまたは反時計回りに回転します。



(6) デバイス中央にあるマニピュレータをダブルクリックします。

[マニピュレータ操作]ダイアログボックスが表示され、位置や角度を変更することができます。数値を指定したのち<適用>ボタンを押すと、新しい値が割り当てられます。

2	マニピュレータ	操作	- 🗆 🗙
х	2091.257	摘要	閉じる
z	8207.003	摘要	
角度	45.000	摘要	

- (7) [マニピュレータ操作]ダイアログボックスの<閉じる>ボタンを押します。
- (8) マニピュレータの矢印や円弧をドラッグします。
 矢印部分をドラッグすると、矢印の方向にデバイスを移動させることができます。円弧部分をドラッグすると、デバイスを回転させることができます。
- (9) デバイスが選択された状態で、キーボードの Delete キーを押します。選択中のデバイスが削除されます。

7.5 編集メニューの各機能

編集メニューには、以下の機能が用意されています。



(1) すべて選択

フロア上にあるすべてのデバイスを一括で選択状態とします。

(2) デバイスの位置合わせ

縦または横方向に、複数のデバイスを位置合わせできます。

複数のデバイスを選択した状態でメニューを選択すると、[デバイスの位置合わせ]ダイアログ ボックスが表示されます。縦または横を選んで<OK>ボタンを押すと、選択状態のデバイスが 位置合わせされます。



(3) デバイスの等間隔配置

縦または横方向に、3つ以上のデバイスを等間隔で配置できます。 3つ以上のデバイスを選択した状態でメニューを選択すると、[デバイスの等間隔配置]ダイア ログボックスが表示されます。縦または横と間隔を指定して<OK>ボタンを押すと、選択中の デバイス間の距離が指定した値となるよう再配置されます。



- (4) デバイスを床面にフィット 選択中のデバイスを、最下部が床面と一致するように移動します。
- (5) フリーボックス追加
 フリーボックスとは、大きさと色を自由に変更できる箱です。
 メニューを選択すると、床面上に新しいフリーボックスが追加されます。

(6) フリーボックス編集

選択中のフリーボックスの大きさや色を変更できます。

いずれかのフリーボックスを選択した状態でメニューを選ぶと、[フリーボックスの編集]ダイ アログボックスが表示されます。大きさと色を自由に設定し、<OK>ボタンを押すと、新しい 設定が反映されます。

" フォルト寸	フリーホックスの補乗	
単位	mm	ОК
х	1000	キャンセル
Y	1000	
z	1000	
"Ե+ԱԽՊ	æ	
78701-03		

7.6 表示メニューの各機能

表示メニューには、以下の機能が用意されています。



(1) 全体をフィットー前方

フロアの前方から全体を見渡す視点に変更します。

(2) 全体をフィット-後方

フロアの後方から全体を見渡す視点に変更します。

(3) 部屋にフィット

メニューを選択すると、[部屋選択]ダイアログボックスが表示されます。いずれかの部屋を選択して<OK>ボタンを押すと、選択した部屋の位置に視点が移動します。

2	部屋選択	- 🗆 🗙
現在のフロア:1F]		
事務所1		OK
● #75/12 ● 予務所3 ■ 工場		キャンセル
会議室2 事務所4		
会議室1		

(4) VR で開く

別の章で説明します。

(5) オプション

オプションダイアログボックスが開きます。

(6) 歩行モード

視点の高さを固定した状態で、3次元環境を移動することができる機能です。矢印キーやテン キーを自由に押しながら、建物内部を同じ高さから眺めることができます。

(7) ステータスバー

ステータスバーの表示非表示を切り替えることができます。

7.7 設定メニューの各機能

設定メニューには、以下の機能が用意されています。

設定(S)	へルブ(H)
視	点移動(V)
デバ	(イス移動(D)
フリ	ー <mark>ポック</mark> ス(F)
51	センス(1)
共	ヨフォルダ(S)

(1) 視点移動

視点移動に関連する設定を行うことができます。

メニューを選択すると、[視点移動設定]ダイアログボックスが表示されます。

<u> </u>	視点移動設定	- 🗆 ×
「キーボード		
移動ステップ	100 (0-10	200) ок
回転ステップ	100 (0-10	200)
רקסג		
視点の移動	100 (0-10	200)
視点の回転	50 (0-10	200)
マウスホイールによるズーム	70 (0-10	200)
歩行モードにおける視点高さ	1500 mm	
y		

以下の設定を行うことができます。

● キーボード

矢印キーによる移動、および、テンキーによる回転の感度を指定できます。

● マウス

マウス中ドラッグによる移動、マウス右ドラッグによる回転、および、マウス中ボタンのス クロールによるズームの感度を指定できます。

- 歩行モード
 歩行モードにおける視点の高さを指定できます。
- (2) デバイス移動

デバイス移動に関連する設定を行うことができます。 メニューを選択すると、[デバイス移動設定]ダイアログボックスが表示されます。

2	デバイス	移動設定	_ 🗆 🗙
移動ステップ	100	(0-1000)	ок
回転ステップ	45	(0-90)	キャンセル
			li.

Ctrl キーを押した状態で矢印キーやテンキーを操作した場合の感度を指定できます。

(3) フリーボックス

フリーボックスに関連する設定を行うことができます。

メニューを選択すると、[フリーボックス設定]ダイアログボックスが表示されます。フリーボ ックスを配置したときに最初に使用される設定を変更することができます。

2	フリーボックス設定	_ 🗆 🗙
デフォルト寸法 単位 X 1000 Y 1000 Z 1000 デフォルトの色	最初に配置する部屋 事務所1 事務所2 事務所3 会議室1 事務所4 事務所6 会議室2 工場	0K キャンセル
		1

(4) ライセンス

ライセンスに関する説明の章を参照してください。

(5) 共有フォルダー ユーザーが所有している 3 次元データを組み込む場合に設定が必要です。関連する章を参照 してください。

7.8 複数フロアへの対応

フロアが複数存在する部屋配置ファイルの場合、床面の左下に表示されるフロア番号で、現在の フロアを確認することができます。



現在のフロアを変更するには、キーボードの PageDown キーまたは PageUp キーを使用します。 PageDown キーを押すと一つ下のフロアへ、PageUp キーを押すと一つ上のフロアへ移動します。

7.9 ファイルの保存

変更内容を保存するには、メインメニューの[ファイル]・[保存]を選びます。保存先とファイル名 を自由に指定して保存ができます。

7	アイル(F)	編集(E)	表示(M)	設定(
1	開<(0)		Ctrl+	0
	保存(S)		
	アプリ	ケーションの)終了(X)	

7.10 アプリケーションの終了

作業を終了するには、メインメニューの[ファイル]・[アプリケーションの終了]を選びます。

:[ファイル(F)	編集(E)	表示(V)	設定(
	開<(0)		Ctrl+O	
	保存(S)			
-	アプリ	ケーションの)終了(X)	

<u>第8章 3Dファイルの組み込み</u>

8 3D ファイルの組み込み

8.1 概要

本ソフトウェアは、FBX 形式、および DXF 形式の外部データを組み込んで使用することができます。

変換用ソフトウェアは別に提供されており、組み合わせて使用することで、ユーザーが所有して いる 3D データを組み込むことができます。

8.2 3D ファイルの変換

外部データを変換するには、Web ファイルエクスポータを使用します。



詳しい操作は、ソフトウェアに付随しているマニュアルをご覧ください。

8.3 3D ファイル組み込み手順

(1) Web エクスポータを使用し、エクスポート先フォルダーに 3D データー式をエクスポートします。

エクスポート先には、以下のようなフォルダーが作られ、変換結果のファイルが保存されま す。

名前	更新日時	種類	サイズ
퉬 2DDXF	2017/12/15 11:06	ファイル フォルダー	
퉬 DeviceGeometry	2017/12/15 11:06	ファイル フォルダー	
퉬 DeviceSetting	2017/12/15 11:06	ファイル フォルダー	

(2) 本ソフトウェアを起動させ、メインメニューの[設定]・[共有フォルダ]を選びます。

a又(2) 相占	移動い
デバ フリ-	イス移動(D) -ボックス(F)
51	センス(11)
共有	ヨフォルダ(S)

[共有フォルダー指定]ダイアログボックスが表示されます。

2	共有フォルダー指定	-		×
C¥Program Files	s (x86)¥Realinite¥DevLayouterFor		OK キャン	: セル
				1

(3) <変更>ボタンを押し、エクスポート先フォルダーを指定したのち、<OK>ボタンを押します。

エクスポート先フォルダーの内容は書き換えないでください。フォルダー構成を変えたり、ファ イル名を変更したりすると、本システムが正しく認識できません。

<u>第9章 バーチャルリアリティビューア</u>

9 バーチャルリアリティビューア

9.1 概要

バーチャルリアリティ機能のライセンスを所有されている場合、本ソフトウェアで作成したデー タを、3次元立体視の環境で確認することができます。

以下に述べる操作を行うと、データ完成後すぐに、ヘッドマウントディスプレイを使用して配置 結果の検討が行えます。

9.2 バーチャルリアリティビューアの利用

以下の操作を行う前に、バーチャルリアリティビューアを同じマシン上にインストールしてくだ さい。

- (1) 本ソフトウェアでデータを作成します。
- (2) ファイルを保存します。
- (3) メインメニューの[表示]-[VR で開く]を選びます。



データのロードが開始し、起動前に開いていたデータを使用して、バーチャルリアリティビ ューアが開きます。



(4) 作業が完了したら、バーチャルリアリティビューアを終了させます。

本ソフトウェアの作業に戻っても、バーチャルリアリティビューアは自動で終了しません。

[VR で開く]メニューを選択する前に、バーチャルリアリティビューアが終了していることを 確認してください。

<u>第10章 技術サポート</u>

10 技術サポート

10.1 インストール支援

購入後 30 日は、インストール支援を無料で提供いたします。 インストール支援は、インストール作業時に発生した問題の解決を図ります。メールまたは電話 でのご支援となります。連絡先は別途ご案内します。

10.2 サポート契約

サポート契約をご希望のお客様は当社までご連絡ください。詳細なサービス内容のご案内と合わ せて、申込書をお手元にお送りいたします。

第11章 お問い合わせ方法

11 お問い合わせ方法

本製品につき質問がある場合は、以下までお問い合わせください。

Support@realinite.co.jp

なお、サポート契約をいただいていない場合、技術的なご質問にはお答えできませんので、予めご了 承ください。